

研修テーマ	「教育的ニーズの整理」
研修のねらい	<p>3つの観点を踏まえた教育的ニーズの整理について、具体的にイメージをもち、以下の2点を踏まえて架空事例の教育的ニーズを整理することができる。</p> <p>① 障がいの状態等を踏まえた指導・支援の内容を考える。 ② 特別な指導内容と教育上の合理的配慮を含む支援の内容を区別する。</p> <p>[キーワード] 教育的ニーズの整理 指導 支援</p>
期待される効果	・教育的ニーズの整理の3つの観点について具体的にイメージをもつことで、子どもの実態、指導、支援を考えるケース会議や校内支援委員会の際に、3つの観点で情報を整理し、話し合いを充実させていくことにつながる。
進め方の例と 留意点(集合研修) ※留意点	<p>研修にかかる時間（30分程度）</p> <p>1 はじめの説明（2分）</p> <p>これから「教育的ニーズの整理」についてミニ研修を実施します。途中で演習を行いますので、筆記用具を準備してください。では始めます。</p> <p>※事前に筆記用具の準備を促しておく。</p> <p>2 動画の視聴（18分）</p> <p>3 演習（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習の説明は動画に含まれている。 ・演習内容（解答）をグループで共有する場合は、動画を一時停止し、2～3名程度で行うとよい。 <p>4 動画の視聴 続き（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習後の部分を視聴します。 ・解答スライドをゆっくり確認したい場合は、動画を一時停止する。 <p>5 終わりに（4分）</p> <p>今回の研修は、障がいの状態等を踏まえた「指導とは何か」、「支援とは何か」について、改めて考える機会になりました。子どもがよりよく学ぶためには、教師が思い描いている指導や支援が、本当に子どもの実態に合っているかを、丁寧にすり合わせることが大切だと思います。</p> <p>今日の演習では架空の事例を取り上げましたが、私たちがいつも見ている児童（生徒）にとって、今、最も必要な指導や支援は何か、をみんなで考え続けていきましょう。</p> <p>最後に、まとめとして、管理職の先生からひと言いただきます。</p> <p>※記入したワークシートやアンケートを回収する等して終了 ワークシートを通して研修の学びを確認し、後日返却する。</p>
進め方の例と 留意点(独習)	上記参照
使用する資料	<p>①スライド資料</p> <p>②演習シート</p> <p>③筆記用具（各受講者）</p> <p>④研修の手引（本紙）</p>

